



シンガポール

NCB 海外レポート

日・シンガポール外交関係樹立 60 周年の歩みと未来

～「SJ60」に沸くシンガポール～

◇ はじめに

- ・ 2025 年 12 月の寄稿にて、独立 60 周年の節目を迎えたシンガポールの活気ある様子や、同国が今後目指す方向性、成長戦略についてご紹介しました。
- ・ 本年は、日本とシンガポールが外交関係を樹立して 60 周年（愛称「SJ60」）という、両国にとって記念すべき節目を迎えました。今回は、「SJ60」で盛り上がるシンガポールの様子をご紹介します。

◇ 外交関係樹立 60 周年までの歩み

- ・ 1965 年にマレーシアから独立したシンガポールは、翌年 4 月 26 日に日本と外交関係を樹立しました。1970 年代には、セイコーをはじめとする日系メーカーが相次いでシンガポールへ進出し、雇用創出や産業育成を通じて、同国における製造業の基盤形成に大きく貢献しました。その後も日本は、技術協力や投資を通じてシンガポールの経済発展を支えてきました。
- ・ 2002 年には、日本にとって初の経済連携協定（EPA）となる「日・シンガポール経済連携協定（JSEPA）」が発効しました。同協定には、関税撤廃に加え、サービス貿易の自由化や投資、電子商取引、人の移動の円滑化などが盛り込まれ、これを契機として両国間の経済交流や人的往来はさらに活発化し、現在では互いに重要なビジネスパートナーとして強固な関係を築いています。



シンガポールで有名なカクテル「シンガポールスリング」とのコラボレーション商品「SJ60 記念抹茶スリング」（在シンガポール日本国大使館提供）

◇ 「SJ60」記念事業について

- ・ こうした良好な両国関係の下、今年は「SJ60」を記念し、日本・シンガポール双方で年間を通じて様々な記念事業が企画・実施されています。例えば、7 月にはシンガポールの映画館にて映画「国宝」の上映会が開催され、多くの鑑賞者で賑わいました。
- ・ また、民間企業の間でも、名刺やメール署名に「SJ60 ロゴ」を掲載する動きが広がっており、ビジネスの現場でも、この記念すべき年を官民一体となって盛り上げようという機運が高まっています。



SJ60 記念事業として開催された“KOKUHO Singapore Premiere Screening”の様子（当事務所撮影）

◇ おわりに

- ・ 2026 年 3 月には、ローレンス・ウォン首相兼財務大臣が訪日し、高市総理大臣との首脳会談を行いました。会談において両首脳は、両国関係の「戦略的パートナーシップ」への格上げに一致するとともに、今後の両国関係の羅針盤となる「日本とシンガポール共和国間の戦略的パートナーシップ立上げに関する共同声明」¹を発出しました。
- ・ 今年 11 月 28 日、29 日には、マリーナベイ・サンズにおいて「SJ60 フラグシップイベント」の開催が予定されており、日本の文化や観光、食など多彩な魅力を体験できる展示や催しが企画されています。この機会に、ぜひシンガポールを訪れてみてはいかがでしょうか。

2026 年 7 月 21 日

西日本シティ銀行 シンガポール駐在員事務所作成

¹ (1)自由貿易及び経済協力の推進、(2)デジタル化と技術、(3)安全保障と防衛、(4)グリーン・トランジションとエネルギー協力及び(5)パートナーシップと交流を「優先協力 5 分野」として特定し、かかる分野での協力の方向性をまとめたもの。